

# お知らせ

## 令和6年度 かかりつけ医等 心の健康対応力向上研修のお知らせ

### 【令和6年度かかりつけ医等心の健康対応力向上研修のお誘い】

那覇市医師会 副会長 玉井 修

日常診療をやっているといつの間にか精神科的アプローチを行っている事が多くあります。若い、病を得て、やがて死んでいく人に対する医療・介護の現場では心の問題に多く直面します。むしろ身体診療よりも心の診療のウエイトが大きい場合が少なくありません。特にコロナ禍を経て、時代は人との関わりを遠ざけ、無縁化、孤立化の方向に向かい、家族構成は希薄化し、人間関係も薄っぺらなものになってしまいました。メンタルヘルスの問題は喫緊の課題であり、社会全体の大きなニーズに私たち臨床医はしっかり応える必要があります。これからの時代、現場の臨床医に求められるのは心の対応力強化であることは間違いありません。例え何科であろうとも、ベースに心の対応力をドッシリ持って現場に臨みましょう。今回はこころの連携指導料(I)の要件研修としても行われます。しっかり学び、明日の臨床現場へ向かう糧としたいですね。

#### 1 目 的

令和5年の全国の自殺者は21,837人と前年比44人減少であった。沖縄県においても266人と前年比11人減少であったが、自殺死亡率は18.4(全国平均値17.6)であり令和3年以降増加に転じている。3年以上続いた新型コロナウイルス感染症の流行は、社会変化における雇用問題の深刻化や交流の制限、心理的ストレス、コミュニケーションの問題などのメンタルヘルスに深刻な影響を与えてきたと考えられる。

今回は、自殺に関する基本知識、エビデンスに基づく自殺予防医療、当事者対応、そして地域支援のあり方について、講義と事例学習を通じて習得することを目的とする。

2 研修日時 令和7年1月18日(土) 14:00～17:00 (13:30受付開始)

3 場 所 沖縄県医師会館ホール

4 対 象 地域医療に従事する医師(内科医等一般科かかりつけ医及び精神科、研修医)  
および保健・医療・福祉関係者等 ※定員に達した際には医師を優先します。

#### 5 研修内容

講師 札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授 河西 千秋 氏  
ほか、自殺予防を実践している精神医療専門職

講演 「地域医療に従事するかかりつけ医師のための研修会 ～こころの連携指導料(I)要件研修～」

内容 基礎講義：自殺の実態と国の施策、自殺リスク因子、予防・対応方略  
エビデンスに基づく自殺未遂者医療の実例  
事例学習(こころの連携指導の流れ、家族支援等)

6 留意事項 ・本研修会は「こころの連携指導料(I)」350点(月1回)の施設基準において認められる要件研修となります。全プログラムに参加した医師(精神科・心療内科を標榜する医師を除く)に修了証書を発行します。遅刻や早退、成熟度チェックにご協力されない方はいかなる場合においても終了証は発行しませんのでご注意ください。  
・本研修会で日本医師会生涯教育講座2単位(CC:70気分障害)が取得できます。

7 定 員 80名程度

8 参 加 料 無料

9 申込方法 下記QRコードもしくはURLより申し込みください。



<https://forms.gle/nQY8KCCCVUcUJ6FY9>

※定員に達し次第受付終了

10 問合せ先 沖縄県総合精神保健福祉センター 相談指導班 銘苺、山城  
TEL: 098-888-1443 FAX: 098-888-1710 MAIL: toumamnk@pref.okinawa.lg.jp